

の絵本大国となっている。豊富な資材と優れた印刷技術に支えられ、多様な表現の絵本が日々子どもたちを

夕刊文化

子どもの考え方に寄り添った骨太な物語が次々と誕生した



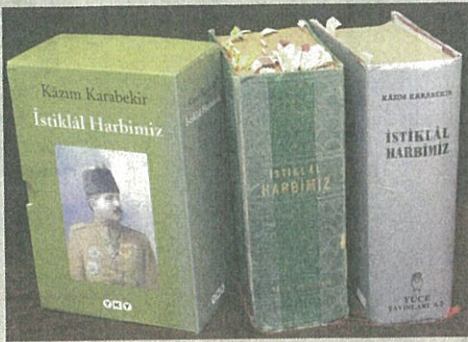
居間したのに文し。日本の作家による創作絵本を主体とするコンセプトで刊行された。「海外の絵本に学び、

に夢がり、いずれはやりたいたと想っていた。森山さんに見ていただき良かった。り入れていきたい」

歴史学者

山内 昌之

こころの玉手箱



回想録は研究の道筋を示してくれた

むかし、夜の11時くらいに自宅に電話をかけてきた学生をたしなめた時のことだ。すると彼に、「えーッ、これで遅いんですか。まだ自分たちには時間が始まったばかりですよ」と言い返されたのである。

確かに、自分にも覚えがあった。夜の10時くらいから勉強を始めて明け方くらいまで読書が続いた28、24歳頃の大学院生の時分は、今と時間の感覚が違った。一見すると地味なおスマン・トルコ語やそのラテン

会いであった。第1次世界大戦からトルコ革命にかけて、トルコの東方関係の指導者としてソビエト・ロシアとの折衝に当たった不世出の軍人政治家との出会いは、イスラームと共産主義とナショナリズムとの相互関係を考えていた

トルコ建国の英雄・カラベキルの回想録

正史が隠した豊かな「物語」

私にとって衝撃的だった。当時読んでいた作家の高橋和巳が5世紀末中国の劉勰の「文心雕龍」との出会いに研究上の想像的魔力を駆り立てられた逸話を知っていたが、1500年及ぶカラベキルの浩瀚な回想録との出会いは、私の人生の模索にとって幸いであった。しかし、初代トルコ大統領アタテュルク最大の政敵の著書として発禁処分を受けた史料を真夜中に読むのは、どことなく填谷の描いた活動家たちの緩慢な時間の進行に似ていた。

ポピュラー

ダーティ・ループス



スウェーデン王立音楽アカデミー出身で今年デビュー—写真 森リョータ

技巧派が力尽くす新鮮さ

この夜のステージでは、ポールのジョン・ニルソンがキーボードも弾き、ベースのヘンリック・リンダー、ドラムのアロン・メレガルドのほかは、サポートにキーボード奏者が1人いるだけ。つまり、ギターなしの編成だ。しかし、音の不足を感じる場面は一度もなかった。チョップ・奏法を多用するリンダーのベースは、すさまじいスピードと正確さで細かい音符を刻み、うねるようなリズムを生み出す。マークス・ミラーをはじめ当代の名手の技はすべて習得済みといった感じだ。メレガルドのドラムも同等の水準にあり、疲れを知らぬ手数と幻想的な演奏に観客は何度もどよめいた。